



発行所  
日刊自動車新聞社  
東京都港区芝大門1丁目10番11号  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2021

10月6日  
(水曜日)

## 金属調加飾 フィルム

# 自動車部品への採用拡大へ

電動化やCASE対応追い風に

## ウェーブ生産・販売体制を強化

合成樹脂の加工、販売などを手がけるウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジ（島田康太郎社長、東京都中央区）は、金属調加飾フィルムの自動車部品への採用拡大に向けた生産・販売体制の強化に乗り出す。同社のフィルムは、金属メッキや塗装などに比べて環境負荷が低減され、ESG（環境・社会・ガバナンス）経営を実践するサプライヤーなどでの採用を狙う。生産設備への投資や海外での販売力強化によって新規受注の獲得につなげていく。

島田社長は「自動車業界はCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）によって変革している。特に電動化や自動運転は、ビジネス拡大のチャンスと捉えており、自動車部品への採用を  
狙っていききたい」と意気込む。同社は、これまでも国内

外の自動車メーカーの車両で採用実績を持っており、現行の車種においても内外装部品で採り入れられている。自動車メーカーのCASE対応を

追い風にして自動車部品への採用拡大を目指す。特に電動化では、ガソリン車に比べて車両設計の自由度が広がる。フロントグリルなどもデザインが大きく変わると予想され、こうした部品への採用も狙う。

同社の親会社であるウェーブブロックホールディングスの発表によると、アドバンステクノロジ事業の2021年3月期の売上高は41億円、営業利益が7千万円。24年3月期には売上高59億円、営業利益5億円を目指すとしている。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2021年10月6日 日刊自動車新聞 3面 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。